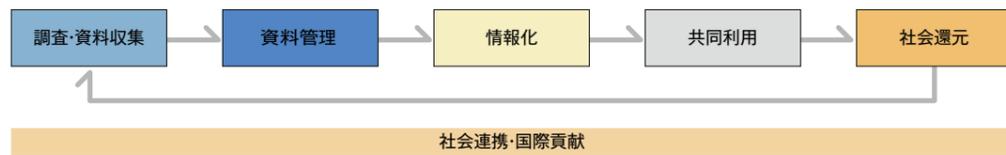


センターの設置目的

文化資源研究センターは、文化資源の体系的な管理と情報化、およびその共同利用や社会還元に向けて調査や研究開発を推進するとともに、実際に事業を推進する際の企画・調整をおこなうことを目的として、平成16年4月に設置されました。

文化資源には、人間の文化にかかわるさまざまな有形のモノやそれについての情報のほか、身体化された知識・技法・ノウハウ、制度化された人的・組織的ネットワークや知的財産など、社会での活用が可能な資源とみなされるものが広くふくまれます。こうした文化資源を人類共有の財産とすることで、グローバル化する世界で人びとが異なる文化への理解を深め、互いに共生していくための基盤をつくりだそうというのが、文化資源研究センターのめざすところです。文化資源は、調査・収集されることでその価値が顕在化され、体系的な資源管理と情報化を経て、共同利用や社会還元に供することが可能となります。これらの各ステップはまた、社会連携や国際貢献の枠組みのなかで推進されます。このような一連のステップは、下図のようなフローの形で表現できます。

文化資源の調査・収集から社会還元へのフロー



各ステップは、それぞれ、諸問題を理論的に解明する「基礎研究」、それにもとづいて方式・体系・技術の開発やそのための予備調査などをおこなう「開発研究」の段階を経て、実際の「事業」として展開されます。

文化資源研究センターは、上記の各ステップに関わる先進的な基礎研究・開発研究と事業を推進する際の企画・調整をおこないます。

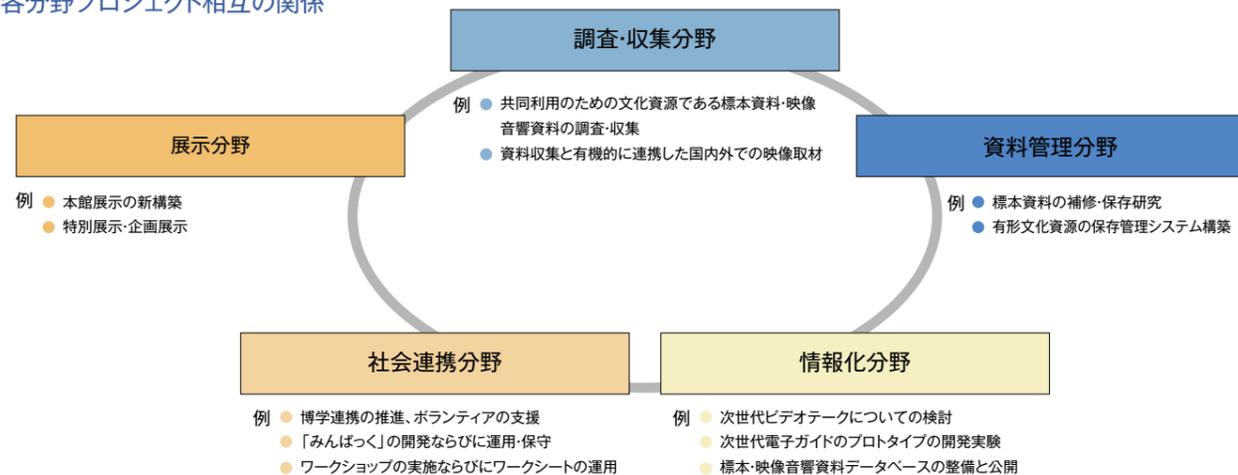
現在、本館では、文化資源研究センターが中心となり、全館的な取組みとして、本館展示の新構築を進めています。開館以来38年が経ち、世界の社会状況や学問のありかた、さらには来館者がみんぱくに期待するものも、大きく変化しました。こうした変化に対応し、大学共同利用機関としての機能を最大限に活用してもらえるように、国内外の大学や博物館と共同しつつ、最新の研究成果を広く社会と共有するための展示を新たに構築しようというのが、本センターのねらいです。新たな展示は、展示に関わる三者、つまり展示の作り手としての研究者、展示の対象となる文化の担い手、そして展示を見る側としての来館者のあいだの、相互の交流と啓発の場、すなわちフォーラムとなることをめざしています。また、これまでの個々の地域文化の特徴を示す展示から、グローバル化の進展にともない、それぞれの地域と世界とのつながりを示すとともに、その動態も映し出す「グローバル展示」の実現をはかります。

文化資源プロジェクト

「文化資源プロジェクト」は、第2期中期目標・中期計画に沿って、大学共同利用機関としての共同利用基盤を整備するとともに、本館あるいは関連する他機関が所有する文化資源の体系化をすすめ、共同利用を促進し、学術的価値を高めるための研究プロジェクトです。

平成21年度から研究者コミュニティとの関係を強化するために、文化資源共同研究員の制度を導入し、提案されたプロジェクトの審査について、外部の有識者による意見聴取の制度も取り入れました。

各分野プロジェクト相互の関係



平成27年度文化資源プロジェクト一覧

調査・収集

ネパール関連のビデオテーク番組の制作	南真木人
在日コリアン音楽の現状に関する映像取材	寺田吉孝
日本各地の軽業系民俗芸能に関する映像取材	笹原亮二
中国雲南省の少数民族の儀礼とキリスト教文化に関する映像番組の編集	横山廣子
言語展示場の部分改修に伴う手話言語に関するビデオテーク番組製作	菊澤律子
ビデオテーク番組「フィリピン北部バルバラサン村の音楽とくらし」(仮題)の編集	寺田吉孝
研究公演「アリアン峠を越えていくー在日コリアン音楽の今」に基づいたマルチメディア番組の製作	寺田吉孝
和太鼓の製作プロセスに関する長編番組の製作	寺田吉孝
カンボジアの大型影絵芝居スバエクトム全7夜の上演記録映像(英語字幕版)の制作	福岡正太
「ラージャスターン州の生活・信仰・儀礼」に関する映像資料の編集と現地語版の作成	三尾 稔
展示記録映像のあり方に関する実践的研究	日高真吾
国立民族学博物館所蔵アフリカ伝世ビーズの蛍光X線分析による起源地の同定	吉田憲司

資料管理

有形文化資源の保存・管理システム構築	園田直子
東日本大震災で被災した文化財の保管環境に関する調査研究4	日高真吾

情報化

京都大学学術調査隊写真コレクション・データベースの公開	吉田憲司
「大島裏二コレクション」の整理とデータベース作成	飯田 卓
「神守弘インド民族文化写真資料アーカイブ」のデータベース作成	三尾 稔
佐々木高明(名誉教授)による写真資料の学術情報化プロジェクト	池谷和信
食文化データベース構築のための事前調査:立命館大学との学術交流協定に基づく	朝倉敏夫
三次元CGを利用した民族建築デジタルアーカイブの構築	佐藤浩司
アチックミュージアム旧蔵資料の体系的整理と資源化	朝倉敏夫

展示

中央・北アジア展示及びアイヌの文化展示の新構築	吉田憲司
南アジア展示及び東南アジア展示用電子ガイドコンテンツの製作	福岡正太
特別展「韓日食博ーわかちあいおもてなしのかたち」	朝倉敏夫
特別展「夷酋列像ー蝦夷地イメージをめぐる人・物・世界ー」	日高真吾
企画展「岩に刻まれた古代美術ーアムール河の少数民族の聖地シカチ・アリアン」	佐々木史郎
特別展「大見世物展ー騙るカラダ 騙るモノー(仮題)」の準備	笹原亮二
平成29年度企画展「カナダにおける先住民文化の過去、現在、未来」(仮題)の準備	岸上伸啓
ビデオテークと標本資料関連データベースの連携と活用	福岡正太
みんぱく電子ガイドのユニバーサル対応コンテンツの試作	福岡正太
屋内位置情報技術を用いた統合電子ガイドの研究と開発	福岡正太
次世代ビデオテーク更新案の作成	福岡正太
次世代ユニバーサルミュージアム展示空間における多様な来館者の知覚鑑賞開発と評価研究	吉田憲司

社会連携(研究開発)

カムイノミ及び重要無形民俗文化財「アイヌ古式舞踊」演舞の実施	齋藤玲子
みんぱくの改訂版制作	上羽陽子

文化資源計画事業

「文化資源計画事業」は、研究成果を普及することを目的とした事業で、2つの分野(資料関連、展示・社会連携)に分けられます。

平成27年度文化資源計画事業一覧

資料関連

「朝鮮半島の文化」に関する映像資料の開発と制作:韓国国立民俗博物館との交流事業	朝倉敏夫
---	------

展示・社会連携

巡回展「イメージの力ー国立民族学博物館コレクションにさぐる」	吉田憲司
館外企画展「武器をアートにーモザンビークにおける平和構築」	吉田憲司
「中国地域の文化」展示の部分改修	横山廣子
「朝鮮半島の文化」展示の部分改修	太田心平
日本の文化展示「沖縄のくらし」、「多みんぞくニホン」の部分改修	日高真吾
ワークショップの実施ならびにワークシートの運用	上羽陽子
ボランティア活動支援	上羽陽子

その他

年末年始展示イベント「さる」	上羽陽子
----------------	------